

Title	大遅延を提供するメッセージサービスの提案と受信者属性の一致による実現方法に関する研究
Author(s)	墨岡, 沖
Citation	
Issue Date	2005-03
Type	Thesis or Dissertation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/1937
Rights	
Description	Supervisor:篠田 陽一, 情報科学研究科, 修士

大遅延を提供するメッセージサービスの提案と 受信者属性の一致による実現方法に関する研究

墨岡 沖 (310057)

北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

2005 年 2 月 10 日

キーワード: メッセージサービス, 大遅延, 属性一致, 曖昧検索.

既存のメッセージサービスとして, 様々な形態形式のサービスが存在する. 古来から利用されてきた手紙や電話や FAX, インターネットを利用する電子メールや IRC や Net News, そして近年では Instant Messenger や Net Meeting などである. メッセージサービスは人間と人間が情報をやり取りする必要不可欠なツールとして多方面に渡って進化を遂げてきた.

メッセージサービスは送信先アドレスを指定する事で意図した相手に対してメッセージを届ける. アドレスを管理する局やサーバは送信先アドレスとマッチするユーザを検索しメッセージの送信作業を開始する.

従来概念では, 送信元からのメッセージがサーバに届くと即座にアドレスのマッチングを行ない, マッチが成功した場合に送信操作を行う. これに対して提案するメッセージサービスではアドレスマッチングのタイミングを柔軟に指定することができる. これにより, メッセージサービスに時間という概念を導入する. 本論文ではこの様な大遅延を提供するメッセージサービスを提案する. 結果として未来にユーザとして登録される相手にメッセージを送信する事が可能となる.

従来の宛先決定プロセスでは提案概念を実現する事は不可能である. まず, 従来型のメッセージサービスはメッセージをメッセージシステム上に蓄積しておくという概念を持たないからである. 次に, 従来型のメッセージサービスは時間に関するアトリビュートを持たないからである. そして, 従来型のメッセージサービスの多くは一つの属性 (例えばメールアドレスや IP アドレス) に関してのみしかマッチングの動作を行なわないからである.

提案概念では, メッセージをメッセージシステム内に蓄積しておくという事を考える. これによりメッセージサービスに時間の概念が導入される. また, 提案概念では複数の属性についてのマッチングを許す. その属性には従来概念には無かった「メッセージ保存期間やマッチングのタイミング」などの時間を考慮する様な属性を設ける.

また，提案概念は従来のメッセージサービスと様々な点において異なる為，多くの視点からの評価及び既存概念との比較が必要となる．本論文では多角的にこれらを比較し提案サービスの有意性やサービス提供時の留意点などを挙げた．各種評価項目においての評価及び比較は重要であり，必須である．

本論文で提案する大遅延を提供するメッセージサービスでは，受信者が送信時には存在しないが将来的に存在する可能性があることを送信者が想定してメッセージを送信する事が可能となる．また，提案概念は従来概念のメッセージサービスを包括しており従来型のメッセージサービスの拡張であるとも言える．